

## 研究課題 当院における高血糖緊急症で入院加療を必要とした症例の背景因子や予後の検討

### ■研究期間

研究実施期間 承認日 ～ 2035 年 3 月 31 日  
(研究対象期間 2019 年 4 月 1 日 ～ 2035 年 3 月 31 日)

### ■研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 糖尿病・内分泌内科

### ■研究の目的と意義

糖尿病は全世界的に罹患率が上昇している病気です。近年、SGLT2 阻害薬や GLP-1 製剤といった新規の糖尿病治療薬が開発されてきており、以前と比較すると外来での治療の選択肢も増えてきており患者様個々にあった治療法を選択しやすくなってきています。

しかしながら、外来での治療選択肢は増えているものの、突然発症する 1 型糖尿病、感染症や外傷などが誘引で生活スタイルが急激に変化した場合、熱中症発症時などには、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性ケトosis、高血糖性高浸透圧症候群といった高血糖緊急症で緊急入院が必要になる状況がなくなることはありません。高血糖緊急症は、放置すると致命的になる疾患であり、高血糖緊急症を発症する症例の、もともとの血糖コントロール状況や投薬内容、併存疾患といった情報について検討を行うことは、発症リスクを予想、および発症後の糖尿病の治療方法を考える際に有用と考えられます。

そこで本研究では、糖尿病・内分泌内科において高血糖緊急症で入院した症例の臨床的特徴を調査することを目的とします。

### ■方法

2019 年 4 月から 2035 年 3 月までに当院糖尿病・内分泌内科に高血糖緊急症(糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性ケトosis、高血糖性高浸透圧症候群)で入院を必要とした症例を対象とします。入院時の背景因子(性別、年齢、身長、体重)、糖尿病家族歴、糖尿病の病型(1 型糖尿病、2 型糖尿病など)、併存疾患(感染症、外傷など)、血液検査項目(血糖管理指標、腎機能など)、使用薬剤、転帰などを調査します。

### ■個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから身体所見に関するデータ収集および投薬状況に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果はインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後 5 年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会に発表することありますが、その際も個人情報が特定できないように対処します。実施にあたり当院臨床研究審査委員会の承認を得ています。

### ■問い合わせ等の連絡先

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 糖尿病・内分泌内科 二宮 浩世  
住所:564-8567 吹田市岸部新町 5-7 電話番号:06-6387-3311